

IR面談等でごくいただくご質問について

2025年9月19日

大崎電気工業株式会社（東証プライム 6644）

■ 本資料について

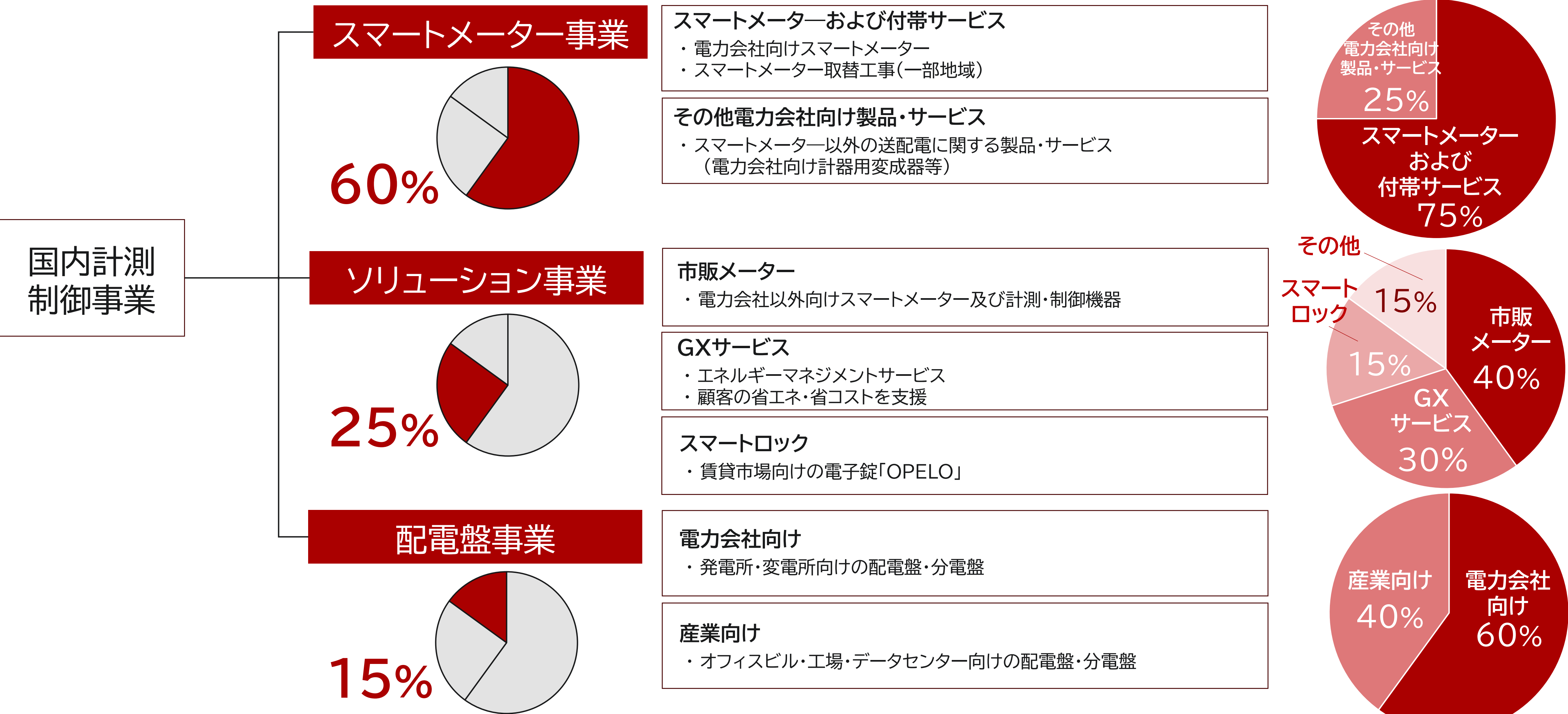
第1四半期決算発表後のIR面談等では、投資家・アナリストの皆さまより様々なご質問をいただいておりますが、特に高い頻度でご質問いただく事項について図表を交えてご説明いたします。当社の事業構造や今後の事業見通しなどについて理解を深めていただく一助となれば幸いです。

■ よくいただくご質問

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| Q1. 国内の売上高について、製品・サービスごとの構成比率を詳しく聞きたい | P.3 |
| Q2. 第2世代スマートメーター販売数は今後どのように推移するのか | P.4 |
| Q3. 米国トランプ関税や為替の影響度について聞きたい | P.5 |
| Q4. 中期経営計画期間中のキャッシュフローについて聞きたい | P.6 |

Q1. 国内の売上高について、製品・サービスごとの構成比率を詳しく聞きたい ■ OSAKI

A. 国内事業の売上構成比率イメージは、以下のとおりです。



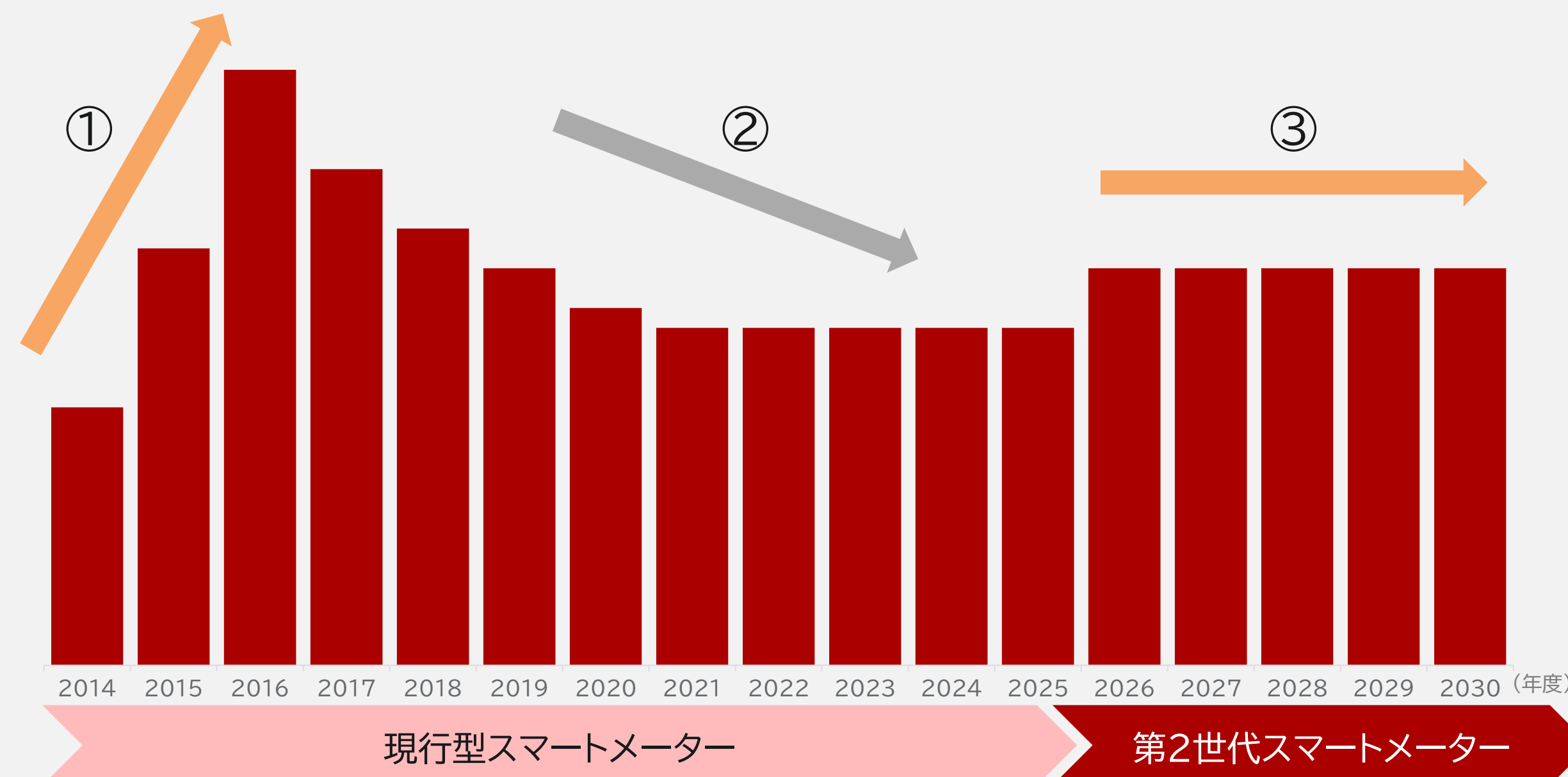
※ 各事業の詳細については、「2026年3月期第1四半期 決算説明資料」(以下リンク先)の32～35ページ「3C視点での事業概要」もご参照ください。
https://www.osaki.co.jp/ja/ir/news/auto_20250804529546/pdfFile.pdf

Q2. 第2世代スマートメーター販売数は今後どのように推移するのか

- A. ・ 第2世代スマートメーターの販売は2025年度下期からスタート。**2026年度から本格化**
- ・ 現行型スマートメーターの有効期間(設置から10年間)が到来するものから、順次、第2世代スマートメーターに置き換え
 - ・ **2026年度以降の年間販売数量は概ね均等に近くなる**と想定。多少の変動はあるが、2026年度の販売水準が2027年度以降も継続する見通し
 - ・ 2025年度は**現行型スマートメーター**の需要が期初予想を上回る見込みだが、追加受注を想定以上に獲得できたことによるものであり、第2世代スマートメーターの需要を前倒したのではない。

■ スマートメーターの販売数量推移イメージ(2025年8月5日公表「2026年3月期第1四半期 決算説明資料」より再掲)

販売数量 (グラフの高さはイメージ)



① 2014～2017年度 (現行型スマートメーター導入)

- ・ 電力小売り自由化などへの対応のため、スマートメーター設置前倒し
- ⇒ 2015～2018年にかけてスマートメーターの設置が一気に拡大
当社の販売高も2016年度に過去最高を更新

② 2020～2024年度

- ・ スマートメーターの設置台数を電力会社は平準化
- ・ 初期導入スマートメーターの置換え需要(現行型から⇒現行型へ)

③ 2025年度～ (第2世代スマートメーター導入)

- ・ 2025年度下期から第2世代スマートメーター本格導入

※ 本グラフは過去のスマートメーターの物量推移と今後の物量想定を示したイメージであり、個々の電力会社の設備投資計画を示すものではありません。

Q3. 米国トランプ関税や為替変動の影響度について聞きたい

Q. 米国トランプ関税の影響度について聞きたい

A. ・ 当社グループは**対米輸出を行っておらず、直接的な影響はない**。一部部材調達での影響が懸念されるが、影響は軽微

Q. 為替変動の影響度について聞きたい

- A. ・ 国内から海外への販売はなく、海外売上高は、すべて海外事業会社での売上(連結売上高に占める比率40%)
- ・ 海外事業の**機能通貨はUSドル**。為替(USドル/日本円)の変動により、海外事業の売上高・営業利益が変動
 - ・ **1円の変動で、年間売上高が約2.8億円、営業利益が約0.2億円変動**(2025年度見通しベース)
 - ・ 海外販売子会社の**売上は現地通貨、仕入はUSドルのため、現地通貨に対しUSドル高になると利益が減少**
(売上規模の大きい英国ポンド/USドルの影響が大きい。オセアニアの売上は半分以上はUSドル建てであり、影響を受けにくい)

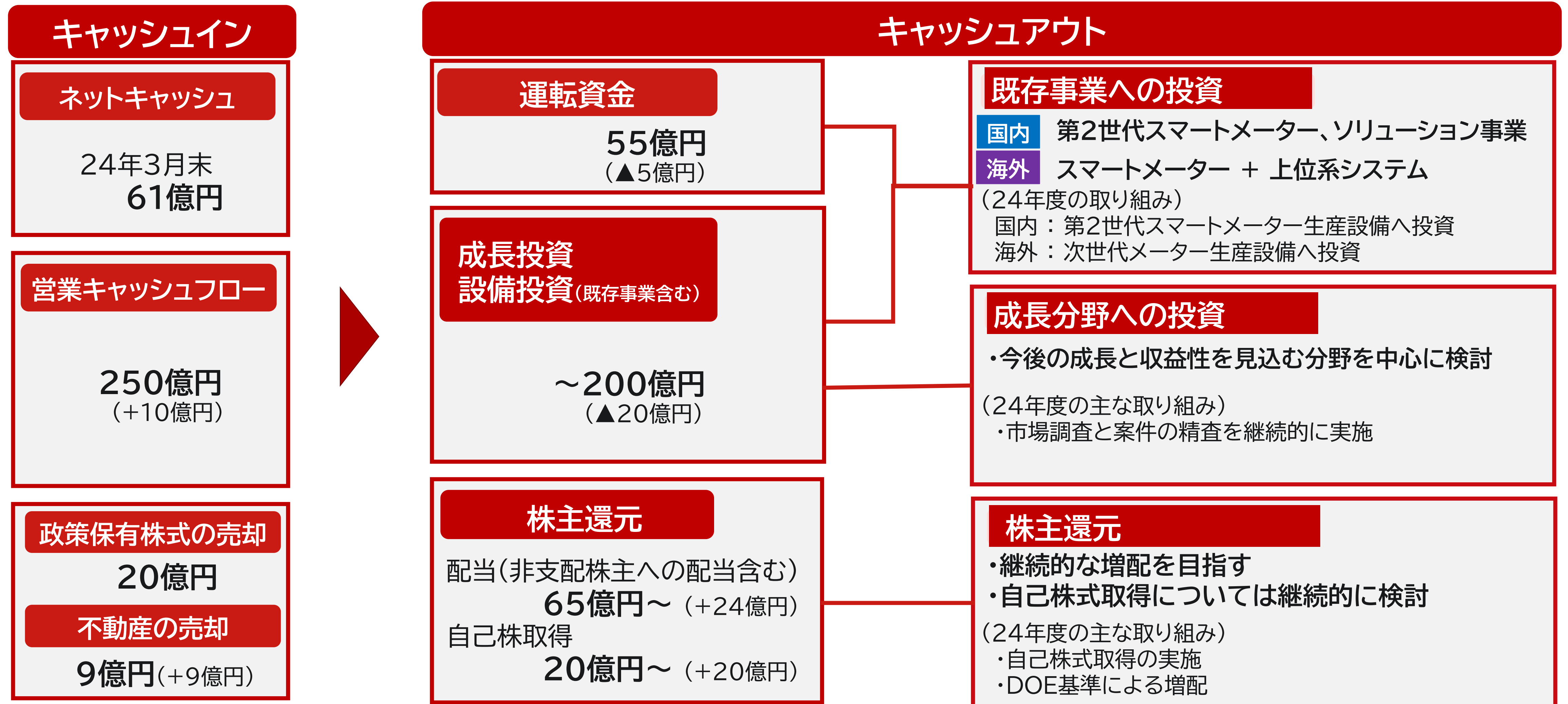
海外事業の為替影響イメージ



Q4. 中期経営計画期間中のキャッシュアロケーションについて聞きたい

A. 成長投資(含む設備投資)、株主還元ともに以下の水準を計画しています。

(「資本コスト・株価経営」アップデートの一部として2025年5月12日に公表済みの資料です)



- ・ 24年度実績、25~26年度計画をもとに作成
- ・ ()内の金額は24年5月公表値からの増減額

※「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応(アップデート)について」の全体資料は以下リンク先をご参照ください。
https://www.osaki.co.jp/ja/ir/news/auto_20250512540016/pdfFile.pdf



大崎電気工業株式会社
東証プライム:6644

- 本資料は監査を受けていない参考数値を含んでいます。
- 本資料に記載の将来の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料の複製、内容の転載はご遠慮ください。